

編集後記

会員の皆様には、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。ここに、京都大学土木会会報No.60をお届けいたします。本号の編集にあたり、会員の皆様から多数のご寄稿をいただき、発行に至ることができました。皆様方の多大なるご支援・ご協力に、幹事一同、厚く御礼申し上げます。

今年も新型コロナウイルスの波に影響を受けておりますが、ここ数か月でwithコロナに舵がきられ、さまざまな社会活動もコロナ前のようにまたはコロナ前とは違った形で再開されています。京都大学土木会の活動も、コロナ前のレベルに、そしてさらに活動が活性化され会員の皆様へのサービスが向上するよう、木村会長のリーダーシップのもと、幹事一同尽力してまいります。

今年度は、6月に役員会および総会を対面とオンラインのハイブリッド形式で開催させていただきました。総会では115名の会員の皆様にご参加いただくことができました。総会の特別講演では、近畿日本鉄道株式会社代表取締役社長の都司様にご講演いただき、アフターコロナの社会を見据えた鉄道事業の在り方について大変貴重なお話を拝聴することができました。8月の新入生歓迎会は、コロナの影響で中止にせざるをえませんでした。京土会のアピールのため、講義の一環で桂キャンパスを訪問した一回生に冷たいお茶を配布し、大変好評でした。過去3年中止していた3月の予餞会は、今年度は対面で開催するべく準備を進めております。

会報No.60より、SDGsの取り組みの一環として、冊子体での送付は取りやめ、京土会HPでの公開のみとさせていただくことになりました。その結果、会報の写真等もすべてカラーになり、より読みやすい会報になっているものと思います。電子媒体となったことで、今後、寄稿数を増やすことも可能となりますので、会報の企画にご意見等ございましたら、京土会事務局までご一報いただけますと幸いです。

今後とも引き続き、会員の皆様のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様の益々のご健勝を心よりお祈り申し上げます。

令和4年度 幹事

北根 安雄, 島田 洋子, 山本 貴士